

# 乳房炎にご注意を！②

## 「乳頭の衛生管理」

道内のある地域で、搾乳立会の結果を数値化した取組を紹介します。

### 取り組み内容

十四戸の搾乳立会を実施し、調査する二十項目を点数化しました。見る人による違いを減らすため大雑把な配点としました。

### 優良農家の特徴

十四農場中体細胞数が十万未満の優良農家の特徴は次の通りです。搾乳手法は、決して良いわけではありませんでした。

#### 【優良農家3戸の特徴】

- A氏：牛体が非常にきれい  
麦稈を1日3回入れる
- B氏：牛体がきれい  
ミルカー装着まで2.5～3分かかっているが、その間に乳頭を徹底的に綺麗に清拭している
- C氏：こまめな除糞の実施  
搾乳は前搾り無し！
- 共通：牛体がきれい  
ライナースリップほぼ無し

### 搾乳立会調査から

表1 搾乳立会調査の管理項目別比較結果

	14戸平均	体細胞数ランク別*		差
		高農家平均	低農家平均	
全平均**	2.33	2.06	2.70	0.63
衛生管理	2.29	1.94	2.75	0.81
搾乳手法	2.32	2.18	2.51	0.33
飼養管理	2.40	2.04	2.89	0.85
体細胞数(万/ml)	19.10	25.63	10.39	

\* 体細胞数の高・低基準は、20万/mlとした  
\*\* 1点：要改善、2点：普通、3点：優良

搾乳立会を実施した一四戸の点数を管理項目別に体細胞数が低い農家と高い農家で比較しました(表1)。すると、「飼養管理(粗飼料)」と「衛生管理」で差が大きくなりました。「搾乳手法」については、差が小さい結果でした。

### 牛体の汚れと体細胞数

D農場で牛体の汚れと乳検体細胞

数を調査したところ、牛体の綺麗な牛は体細胞数が低い傾向でした(図1)。

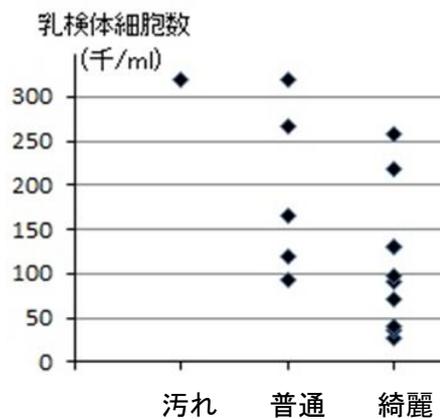


図1 牛体の汚れと乳検体細胞数

### ライナースリップは危険

ライナースリップが起こると、陰圧が下がって、瞬間的に乳汁の逆流が起

### ◇なぜ空気流入が問題か？

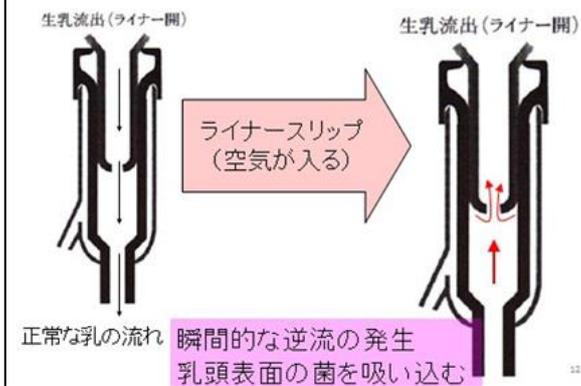


図2 瞬間的な逆流と細菌吸い込み

こります。その逆流に合わせて、乳頭口付近の細菌と一緒に乳頭内に侵入します(図2)。特に搾乳後半の乳汁が勢いよく出ていないときの逆流は、細菌を押し出せないため致命傷です。乳頭口の清拭が甘い場合どうなるかは容易に想像できます。

### 実証

「乳頭・乳頭口の清拭を徹底すれば、体細胞数を削減できる」と仮説を立ててだところ、実施した四戸とも体細胞数を削減することができました。(下表参照、体細胞数は立会前後6カ月平均値)

農家名	体細胞数(万個/ml)	
	搾乳立会前	立会后
E	11.8	8.9
F	23.3	16.5
G	15.4	11.9
H	33.1	27.6

- [まとめ]
- ✓ 乳質改善では、搾乳手法よりも、牛体・乳頭の衛生管理が最も重要
- ✓ 乳頭・乳頭口の清拭を徹底すれば、体細胞数は削減できる。
- ◆ 推奨されている搾乳手法は乳質には影響が少ないが、乳量に大きく影響するため誤解の無いように！